

【町田市】

■実施日時：令和5年2月6日（月）14：00～16：00

■参加部署：町田市保健所保健予防課

■実施内容（取組状況の共有・情報交換等）

（ひきこもり支援の中心部門）

○保健所保健予防課精神保健係

・2011年から保健所政令市になり、ひきこもりに関しては精神保健係が担当。

○プラットフォームは、ひきこもり支援に係る庁内各課で構成

・保健予防課・障がい福祉課・生活援護課・福祉総務課・高齢者福祉課・市民協働推進課・教育センターで構成。

・現在プラットフォームとして会議は開催していないが、必要時開催することはできる。

・既存のひきこもりネットワーク会議を開催しており、支援機関同士のネットワーク構築に努めている。

（市の動き）

○1998年から思春期の専門医相談を開始。

○2003年親グループができ、親グループの参加者の要望から2006年本人グループができた。

○2012年「まちだ未来づくりプラン」にてひきこもりの市民意識調査、民生委員・児童委員意識調査、2012年～2015年にかけて社会資源調査、2013年当事者調査を実施。

○2016年ひきこもりネットワーク会議を開始。

・2012年の調査を経て、2016年から実施している。

就労、福祉、教育、保健医療の代表者による準備会を行ってから実施している。

コロナ禍では書面での開催になっていたが、2022年11月から対面での会議を再開

・参加機関は26機関

（当事者グループ）

○当事者グループ「まんぼう」

・対象は、20～30歳代くらいの方。

・本人の意思での参加（家族の同意、一人で来所可能）。保健師との面談をしている。集団支援のスタイル。

・3か月ごとに参加者でプログラムを決めている。

・このグループはNPO法人ゆどうふに委託して実施している。

（家族会）

○KHJ町田家族会

■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

・ケースカンファレンスの実施

テーマ「新しい社会資源を家庭に導入した中での保健所の関わり方について」

本人への支援だけに拘らず、家族支援を行いながら本人へのアプローチを提案